

発行 豊頃町
〒089 - 5392
中川郡豊頃町茂岩本町 125 番地
☎ 015(574) 2216
発行日 2012 年 10 月 1 日
編集 豊頃町企画課広報情報係
豊頃町社会福祉協議会



今月の表紙

今月の表紙は、とよころ産業まつりの秋あじつかみ取りの一コマです。抽選にもれた人も暑さを忘れて、元気に泳ぐ鮭に見入っていました。当日は好天に恵まれ、3年ぶりのまつりは大盛況のうちに幕を閉じました。

役場などの連絡先

- ◆役場
☎ (574) 2211 (代表)・FAX (574) 3750 (総務課)
- ◆各課等 (ダイヤルイン)
- | | |
|-------------|--------------|
| 総務課 | ☎ (574) 2211 |
| 出納室 | ☎ (574) 2212 |
| 住民課 | ☎ (574) 2213 |
| 福祉課 | ☎ (574) 2214 |
| 施設課 | ☎ (574) 2215 |
| 企画課 | ☎ (574) 2216 |
| 産業課 | ☎ (574) 2217 |
| 農業委員会 | ☎ (574) 2218 |
| 議会事務局 | ☎ (574) 2222 |
| 教育委員会 (教育課) | ☎ (579) 5801 |
| (図書館) | ☎ (579) 5802 |
- ◆支所・出先機関・町内関係機関
- | | |
|------------|--------------|
| 大津支所 | ☎ (575) 2021 |
| こどもプラザとよころ | ☎ (574) 3931 |
| 給食センター | ☎ (574) 4600 |
| 社会福祉協議会 | ☎ (574) 3143 |
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口
NTT 東日本データセンタ ☎ 0120(860) 023
〔24 時間 365 日受付〕

ホームページ

豊頃町
<http://www.toyokoro.jp/>
豊頃町社会福祉協議会
<http://www.h3.dion.ne.jp/~toyo-sha/>

豊頃町の人口と世帯

8 月 31 日現在 (前月比)
住民基本台帳に基づく

人口	3,496 人(－7)
男	1,674 人(－3)
女	1,822 人(－4)
世帯	1,496 世帯(+4)

町内の交通事故

平成 24 年 1 月 1 日
～ 9 月 10 日 (前年比)

交通事故死ゼロ	145 日
発生	4 件(0)
死者	1 人(0)
傷者	3 人(－3)

目次

CONTENTS

02 クローズアップ人

とよころ農村ホームステイ受入準備室 代表 **小笠原茂人**さん

広報とよころ

04 特集「財政状況の公表」

06 Info-TOPICS「国民年金からのお知らせ」

07 健康だより「結核診断を受けましょう！」

08 はるにれは見ていた「とよころ産業まつり ほか」

12 豊頃医院だより「豊頃医院10年の成果と今後の抱負」 町民プールがいよいよ完成！2日間開放します

13 駐在だより「農業漁業最盛期、無事故で乗り切ろう！ ほか」 デイナ ダイジェスト

14 みんなの図書館「図書特別整理期間が終了しました ほか」

16 町民文芸 - 我が家のアイドル

社協だより

17 表紙「老人クラブ連合会研修旅行」

18 赤い羽根共同募金

19 社協会費納入にご協力頂きありがとうございます♥ ほか

20 ほっとサロン夏祭り - わいわいワークキャンプ2012

21 身障会分会 - 手をつなく親の会 - 「喫茶ふわり」からお知らせ

22 老人クラブ連合会 - ふれあい昼食会「バス遠足」ほか

23 社協事業の紹介 デイサービスきらり

24 ふれあいフェスティバル ほか

役場だより

26 INFORMATION ◎目次あり

主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

告知 豊頃町文化芸術鑑賞事業

林家たい平独演会

ク	ロ	ー	ズ
			ア
			ッ
			プ

toyokoro people

ホームステイを通じて

豊頃の魅力を感じて欲しい

「入村式のときはコンビニとスーパーが一軒ずつしかない町を見て、とても不安そうな顔をしているんですが、次の日からは、広い畑で作業するうちに目の色がだんだん変わってきて、帰る頃にはキラキラと輝いているんですよ。自然の力の大きさに触れると、表情まで変わるんですね。」

そう話すのは、畑作農家を営みながら、

とよころ農村ホームステイ受入準備室
代表 **小笠原茂人**さん

Profile おがさわら・しげと

昭和 34 年 6 月 24 日生まれ。53 歳。北栄地区で 40ha の畑作農家を営みながら町青少年育成協議会会長、農協理事、町消防団第三分団副分団長、十弗地域づくり会議副会長など多数の役職を務める。

豊頃町の「農村ホームステイ」事業の受入れ農家を取りまとめている、とよころ農村ホームステイ受入準備室代表の小笠原茂人さんです。

「農村ホームステイ」は浦幌の NPO 法人「食の絆を育む会」(近江正隆理事長兼事務局長)が行っている事業で、本州の修学旅行生が十勝管内の農家・漁家に宿泊し、農業体験などを通じて生産者への感謝の気持ちを育むことを目的としています。本事業は平成 22 年から行われており、今年は、道央の中学校や大阪府の高校から総勢約 2000 人を受入れる計画です。

小笠原さんは「食の絆を育む会」の関係者から豊頃町でも受入れて欲しいという話があり、「このホームステイを通じて豊頃の魅力に触れ、将来的にこの地で農業、漁業を営むきっかけになってくれれば」と思い、本事業に参加することとなりました。

2 年前は 5 戸の農家で始めたのが、昨年は 9 戸、今年は 13 戸(11 戸が農家で 2 戸が漁家)に増えました。



昨年の農作業の一コマ。我々にとってはありふれた光景でも、都会の高校生には何もかもが新鮮。

ができるようになり、える夢館で 9 月 30 日に入村式、10 月 1 日に退村式が行われます。本事業は、作業体験だけでなく、宿泊先の方々との「共同調理」も魅力のひとつで、「一緒に調理して、皆で囲んで食べる。我々には当たり前のようでも、都会の子どもたちにとっては貴重な体験で、喜んでもらえます」と、うれしそうに話していました。

最後に今後の抱負を聞いてみると、「農業者や漁業者が減ってくるなかで受け入れ先を増やすことはなかなか難しいことです。が、将来的には 2 クラス分、80 人を豊頃単独で受入れられるようにしたいですね。すぐに成果が得られる事業ではないですが、この体験を通じて北海道に住みたいという若者が実際に現れているので、地道に続けていきたいです。今年は 2 回受入を予定しており、10 月 18、19 日にも大阪の高校生 20 人を受入れるので、頑張りたいです」と元気に語ってくれました。